

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和2年度病害虫発生予察技術情報資料（第3号）の送付について

普通期稲における斑点米カメムシ類（8月中、下旬）の発生調査結果

普通期稲（出穂期～乳熟期）の斑点米カメムシ類の発生状況について、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考にしてください。

記

8月中、下旬に実施したすくい取り調査の結果、発生ほ場率は全般的に平年並でしたが、県中央部で100%、その他の地域も83～88%と高レベルでした。1ほ場当たりの平均発生虫数は、中央部で平年の1.9倍、西部で1.5倍と多く、東部、中西部は平年並でしたが、東部の1ほ場当たりの平均発生虫数25.8頭と、高レベルでした。発生種は、全域でクモヘリカメムシが平年に比べ多く見られ、中央部ではイネカメムシも多く見られました（表1、2）。

出穂期以降に、カメムシ類の発生がわずかでも見られる場合、斑点米が発生することが予想されますので、出穂10日後及び、その5～7日後に防除を行ってください。

また、ミナミアオカメムシは合成ピレスロイド剤の効果が劣るので、他系統の剤による防除を行ってください。

なお、防除にあたっては、農薬安全使用基準の遵守及び周辺の農作物への飛散防止対策について指導の徹底をお願いします。

表1 普通期稲における斑点米カメムシ類の発生状況(令和2年度)

地域 (ほ場数)		ミナミアオ カメムシ	ホソハリ カメムシ	クモヘリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	アカシジ カスミカメ	その他 (イネカメムシ主体)	合計	発生 ほ場率
東部 (12)	本年	2.7	3.4	11.2	0.2	2.4	6.0	25.8	83%
	平年	4.6	4.5	7.2	0.4	5.2	5.0	26.9	91%
中央部 (18)	本年	1.8	2.1	18.9	1.0	2.0	12.6	38.4	100%
	平年	3.7	1.4	11.3	0.7	1.3	1.7	20.1	90%
中西部 (30)	本年	0.7	0.5	7.7	0.1	0.4	0.6	10.0	90%
	平年	0.5	0.6	6.5	0.3	0.9	0.3	9.1	75%
西部 (8)	本年	0.4	2.0	12.4	0.0	1.4	2.4	18.5	88%
	平年	0.5	0.9	7.4	0.0	1.2	2.6	12.6	79%
県内合計 (68)	本年	1.3	1.6	11.8	0.3	1.3	4.9	21.3	91%
	平年	2.3	1.5	7.9	0.4	1.7	1.7	15.5	82%

※数字は1ほ場あたりの成幼虫数（捕虫網50回振り）